

図 1-1 二酸化硫黄の年平均値の推移

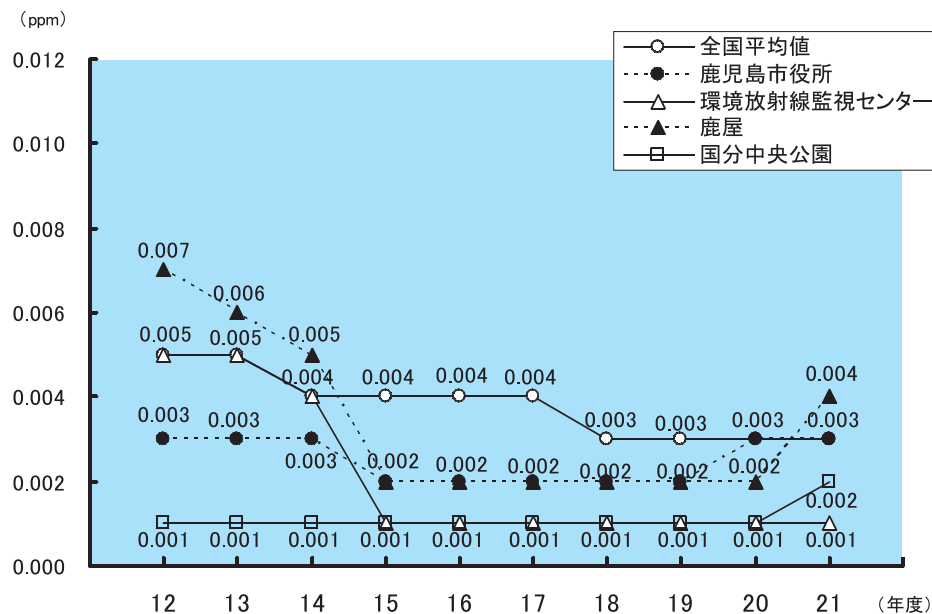


表 1-5 二酸化硫黄測定結果 (平成21年度)

市町名	測 定 局	年 平 均 値	1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 えた 時 間 数 と その 割 合		日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 えた 日 数 と その 割 合		1 時 間 値 の 最 高 値	日 平 均 値 の 2 % 除 外 値	日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 えた 日 が 2 日 以 上 連 続 し た こ と の 有 無	環境基準 の 長 期 的 評 価
		(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(有×・無○)	
鹿児島市	市 役 所	0.003	3	0.0	0	0.0	0.201	0.011	○	達 成
	谷 山 支 所	0.002	1	0.0	0	0.0	0.175	0.012	○	達 成
	有 村	0.039	626	7.2	79	21.6	4.530	0.220	×	非達成
	黒 神	0.005	82	0.9	8	2.2	0.714	0.050	×	非達成
	桜 島 支 所	0.002	13	0.1	0	0.0	0.284	0.012	○	達 成
	赤 水	0.008	134	1.6	20	5.6	1.080	0.064	×	非達成
	喜 入	0.001	0	0.0	0	0.0	0.060	0.005	○	達 成
	環境保健センター	0.003	3	0.0	0	0.0	0.139	0.010	○	達 成
薩摩川内市	鴨 池	0.004	9	0.1	0	0.0	0.196	0.013	○	達 成
	寄 田	0.002	0	0.0	0	0.0	0.069	0.006	○	達 成
	環境放射線監視センター	0.001	0	0.0	0	0.0	0.052	0.005	○	達 成
霧島市	川 内	0.001	0	0.0	0	0.0	0.049	0.004	○	達 成
	鹿 屋	0.004	5	0.1	6	1.6	0.134	0.034	×	非達成
志布志市	い ち き 串 木 野 市	0.001	0	0.0	0	0.0	0.047	0.005	○	達 成
東串良町	霧 島 市	0.002	1	0.0	0	0.0	0.108	0.010	○	達 成
	志 布 志	0.002	0	0.0	0	0.0	0.069	0.007	○	達 成
	古 市 団 地	0.002	0	0.0	0	0.0	0.100	0.011	○	達 成

② 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質 (Suspended Particulate Matter, SPM) とは、大気中に浮遊する粒子状物質 (浮遊粉じん, エアロゾルなど) のうち粒径が $10\mu\text{m}$ (マイクロメートル) 以下のものです。

SPMは微小な粒子のため大気中に長時間滞留し、肺や気管支等に沈着して高濃度になると呼吸器に悪影響を及ぼすとされています。SPMには発生源から直接大気中に放

出される一次粒子と、硫黄酸化物（ SO_x ）、窒素酸化物（ NO_x ）等のガス状成分が大気中で粒子状物質に変化する二次粒子があります。

一次粒子の発生源には、工場等から排出されるばいじんやディーゼル車の排出ガスに含まれる粒子状物質等の人為的发生源と、黄砂や土壌の巻き上げ、火山灰等の自然発生源があります。

ア 年平均値の推移

(ア) 一般局

平成21年度は、浮遊粒子状物質の測定を7市町15測定局で実施しました。

県内における年平均値の過去10年間の推移は、図1-2のとおりであり、各測定局ともわずかな増減はあるものの、全般的には横ばいで推移しています。

(イ) 自排局

平成21年度は、浮遊粒子状物質の測定を2市2測定局で実施しました。

鹿児島市鴨池及び薩摩川内市川内の年平均値は、全国平均値と同程度です。

(図1-3)

図1-2 浮遊粒子状物質の年平均値の推移＜一般局＞

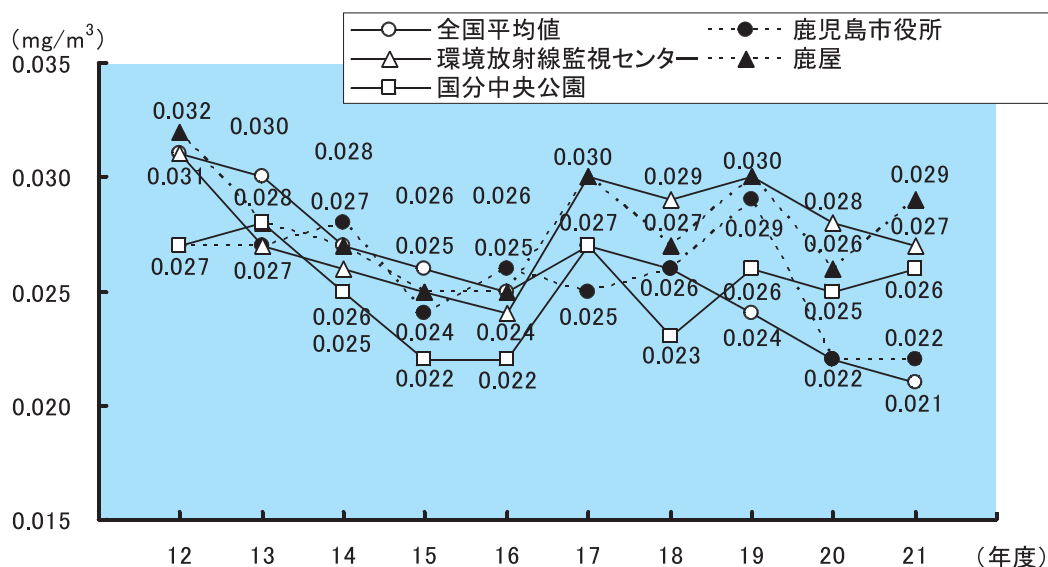
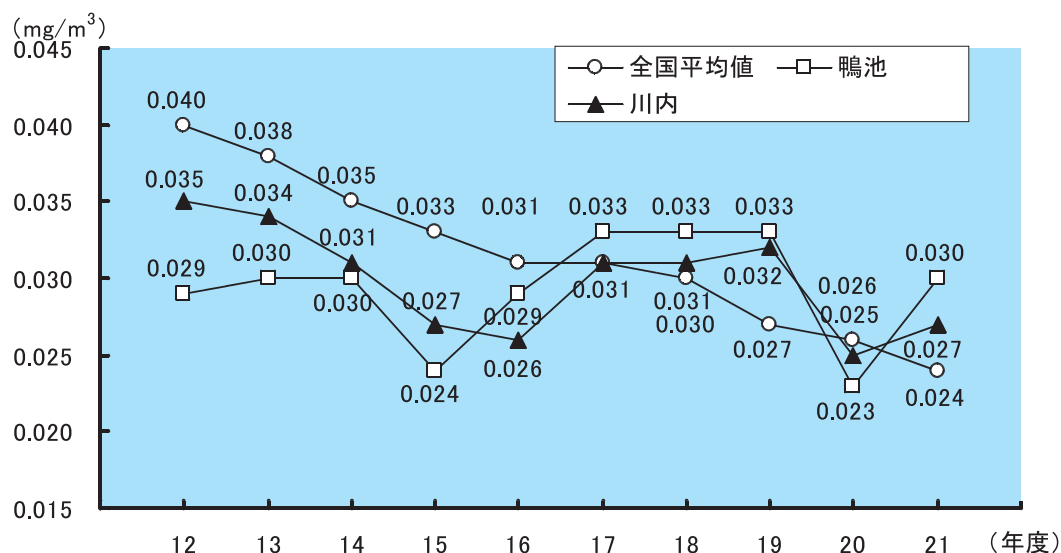


図1-3 浮遊粒子状物質の年平均値の推移＜自排局＞



イ 環境基準の達成状況

平成21年度は、環境基準の長期的評価において、17測定局（一般局15局、自排局2局）のうち16測定局が基準を達成していますが、桜島火山活動の影響を受けて、鹿児島市有村測定局が達成していません。（表1－6、表1－7）

表1－6 浮遊粒子状物質測定結果（平成21年度）＜一般局＞

市町名	測定局	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時 間数とその 割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 数とその 割合		1時間値 の最高値	日平均 値の2% 除 外 値	日平均値 が0.10mg /m ³ を超えた 日が2日以上 連続したこと の有 無	環境基 準の長 期 的 評 価
		(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(有×・無○)	
鹿児島市	市役所	0.022	9	0.1	1	0.3	0.513	0.052	○	達成
	谷山支所	0.024	9	0.1	1	0.3	0.557	0.049	○	達成
	有村	0.033	68	0.8	6	1.6	0.872	0.086	×	非達成
	黒神	0.026	17	0.2	1	0.3	0.633	0.059	○	達成
	桜島支所	0.026	11	0.1	1	0.3	0.684	0.056	○	達成
	赤水	0.030	15	0.2	1	0.3	0.744	0.070	○	達成
	喜入	0.023	9	0.1	1	0.3	0.606	0.051	○	達成
	環境保健センター	0.031	10	0.1	1	0.3	0.747	0.062	○	達成
薩摩川内市	寄田	0.033	9	0.1	1	0.3	0.727	0.062	○	達成
	環境放射線監視センター	0.027	9	0.1	1	0.3	0.669	0.055	○	達成
鹿屋市	鹿屋	0.029	11	0.1	1	0.3	0.691	0.058	○	達成
いちき串木野市	羽島	0.025	9	0.1	1	0.3	0.857	0.057	○	達成
霧島市	国分中央公園	0.026	9	0.1	1	0.3	0.684	0.056	○	達成
志布志市	志布志	0.028	9	0.1	1	0.3	0.626	0.058	○	達成
東串良町	古市団地	0.030	9	0.1	1	0.3	0.724	0.056	○	達成

表1－7 浮遊粒子状物質測定結果（平成21年度）＜自排局＞

市町名	測定局	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時 間数とその 割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 数とその 割合		1時間値 の最高値	日平均 値の2% 除 外 値	日平均値 が0.10mg /m ³ を超えた 日が2日以上 連続したこと の有 無	環境基 準の長 期 的 評 価
		(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(有×・無○)	
鹿児島市	鴨池	0.030	12	0.1	2	0.5	0.830	0.060	○	達成
薩摩川内市	川内	0.027	9	0.1	1	0.3	0.804	0.056	○	達成

③ 二酸化窒素

一酸化窒素（NO）や二酸化窒素（NO₂）等の窒素酸化物（NO_x）は、主に化石燃料の燃焼に伴って発生し、その発生源としては工場・事業場等の固定発生源と自動車等の移動発生源があります。

窒素酸化物は酸性雨や光化学オキシダントの原因物質となり、特に高濃度の二酸化窒素は呼吸器に悪影響を及ぼすとされ、環境基準が定められています。

ア 年平均値の推移

(ア) 一般局

平成21年度は、二酸化窒素の測定を7市町10測定局で実施しました。

県内における年平均値の過去10年間の推移は図1－4のとおりであり、全国平均値に比べ低いレベルにあります。

(イ) 自排局

平成21年度は、二酸化窒素の測定を2市2測定局で実施しました。

鹿児島市鴨池及び薩摩川内市川内の年平均値は、全国平均値に比べ低いレベルです。（図1－5）

図1－4 二酸化窒素の年平均値の推移＜一般局＞

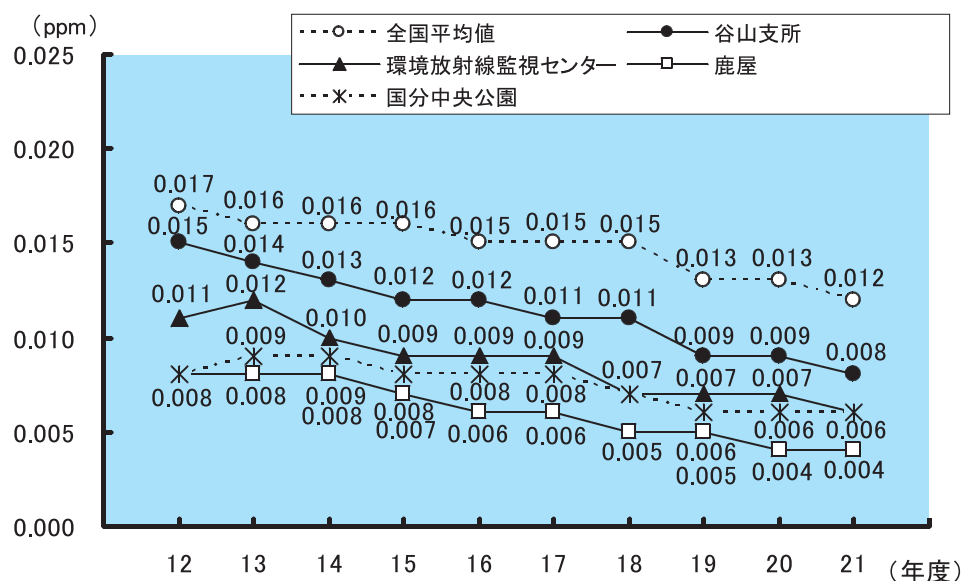


図1－5 二酸化窒素の年平均値の推移＜自排局＞

